



切磋琢磨

【発行日】平成29年8月22日
 【発行者】角田高等学校
 校長:鈴木 琢也
 【連絡先】0224-63-3001

第41回全国高等学校総合文化祭を終えて

今年の夏は長雨の上、典型的な“やませ”の状態で、8月以降天候が不順で気温の低い日が続き、いつもと違う夏季休業だったのではないのでしょうか。各御家庭では、どんな夏季休業を過ごしたのでしょうか。

私は、夏季休業の前半は第41回全国高等学校総合文化祭の美術・工芸部門の運営に携わりました。全国作品展に出品された402点の作品はいずれも素晴らしく、プロの作家として十分通用する技術的に高いレベルの作品やストレートに思いをぶつけた力強い作品、時間をかけて根気強く取り組んだ作品、思春期ならではの葛藤やもどかしさ、不安をテーマにした作品など高校生の時期にしか制作できない若い感性が輝く作品ばかりで大変見応えのある展覧会でした。

愛知県立刈谷東高等学校の生徒18人が共同で制作した「東寺 五重塔」という高さ2mの立体作品がありました。事前に写真で見た印象では、テーマにオリジナリティがなく、なぜこの作品が全国展に選ばれたのか疑問に感じましたが、実際に作品を見てその理由が分かりました。何万羽、何十万羽の小さな折鶴でできていたのです。18人の生徒が協力して鶴を折り、一つ一つをつなげていく。完成するまでにかけられた時間や労力、グループの中で制作を巡る葛藤もあったらうと、その背景を思うと作品を見る重みが変わり、これこそが高校生にしかつくりえない作品だと圧倒される思いでした。



愛知県立刈谷東高校「東寺 五重塔」

同窓会総会開催！

平成29年8月5日（土）午後1時30分から、ジュネス我妻を会場に「平成29年度同窓会総会・懇親会」が開催されました。総会には60名、懇親会には50名の会員の皆様が出席し、昭和61年旧角田高校、旧角田女子高校卒業の皆様と新生角田高校第3回生の皆様が幹事となって、総会・懇親会を進めていただきました。

総会では、事業計画や予算案、役員改選について協議しました。

役員改選では、石黒勝昌会長が勇退され、その後任として天野文彦副会長が会長に選任されました。また、石川日出夫副会長も勇退され、新たに作間スエ子氏、玉手照丈氏、渡邊幸治氏（前校長）が副会長に選任されました。なお、石黒勝昌前会長は引き続き顧問に推戴されました。

<本部役員名簿>

※敬称略

役職	役員氏名	卒業年等
会長	天野 文彦	高17回
参与	鈴木 琢也	高31回・校長
副会長	門馬 哲子	高昭44年
副会長	作間 スエ子	高昭41年
副会長	玉手 照丈	高22回
副会長	渡邊 幸治	高27回
会計	高橋 力雄	高23回
会計	小島 きぬ子	高昭48年
会計	川口 雅子	事務室長
監事	玉手 富士夫	高14回
監事	菊地 利衛	高24回
監事	八島 知子	高昭52年
監事	太田 るり子	高昭55年



地域の良さを再発見しました！

お盆に2年ぶりに次男が帰省し、「地域にある名所旧跡を見たことがない」と言うので、8月12日（土）午後から14日（月）午前にかけて一緒に出掛けました。

8月12日（土）雨上がりの午後に斗蔵山にある**斗蔵山神社**に出掛けました。駐車場には他に車はなく、お盆というのに観光客は全くいませんでした。駐車場から106段の石段を登った先の遊歩道は雨上がりで濡れて滑りやすく、多少難儀しながら神社まで登りましたが、霧に包まれた境内は幻想的で厳かで独特な雰囲気醸し出していました。駐車場に降りる途中の石段のところで偶然晴れ間がのぞき角田市内が一望できて感動しました。

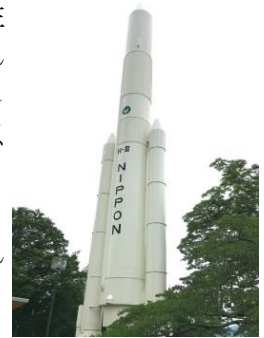


その後、西根の**高蔵寺**に向かいました。他の観光地同様、駐車場から阿弥陀堂、旧佐藤家住宅までの順路や庭園もきれいに整備され、いかにも観光名所という雰囲気でした。阿弥陀堂は本県最古の現存する木造建築物で、平泉中尊寺阿弥陀堂、いわき市平の白水阿弥陀堂とともに東北三大阿弥陀堂に数えられているのだそうです。

2日目の13日（日）は、**角田市郷土資料館**を見学しました。入場無料ですが客は自分達だけで貸し切り状態でした。明治から大正にかけて角田で三大資産家の一つに数えられた大地主氏家邸を角田が譲り受けて整備したものです。以前に何度か見学したことはあったのですが、改めて見学するとステンドグラスや大理石のお風呂など大正期のモダンで静かな雰囲気が漂い、日常の喧騒を忘れさせてくれました。表門は角田城の門を明治時代に移築したものだそうです。



その後、台山公園の**スペースタワー・コスモハウス**に出掛けました。駐車場に着くと既に数台の県外車が駐車しており、何組かの家族連れとすれ違いました。「おばあちゃんの家はどこ」という声が聞こえ、お盆に帰省した家族連れと推察できました。20年以上前、息子が小さい頃に訪れた以来でしたが、改めて展望台に登ると思いがけず時間を忘れて楽しめました。また、1階に新たに増築された「宇宙（コスモ）っ子テラス」は環境がよく、様々な活用が期待できる施設だと感じました。1階の売店で販売されていた宇宙食をお土産に買って帰りました。



昼食をはさんで**四方山**に登りました。以前何回も登ったことがありましたが、山頂展望台ができていたのは初めて知りました。展望台からは文字通り角田市、山元町、亘理町と四方を展望することができました。また、頂上に向かう途中、大滝不動尊にも立ち寄りしましたが、奥に進むと祠があり、横を清水が流れる静謐な雰囲気のある場所でした。



最終日の14日（月）は、丸森町の**齋理屋敷**まで足を延ばしました。ここも過去に何度も訪れたことがあり、良いところだということは知っていましたが、奥にある洋館や庭園は初めて見学しました。江戸時代後期から昭和初期にかけて、七代にわたり栄えた豪商、齋藤理助氏の屋敷および収蔵品すべてを町が寄贈を受けたもので、2010年には、12の建造物が国の登録有形文化財に登録されたとのことでした。



改めて見学すると、角田・丸森にも見応えのある良いところがたくさんあることを再発見できました。